



週報

VOL XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

| | | |
|-----|--------------|-------------|
| 例会場 | 七十七銀行佐沼支店ホール | TEL(2)-2577 |
| 例会日 | 毎週木曜日 | 12.30~13.30 |
| 事務所 | 振興相互銀行佐沼支店 | TEL(2)-2547 |

| | |
|----|----------------|
| 会長 | 千葉重雄 |
| 幹事 | 大河内清 |
| 週報 | 白石謙造 村上武彦 小林忠秋 |
| | 阿部正美 秀義弥 |

第776回例会

1980. 2. 28

No.28

- ◎ 本日の出席率 35名中30名出席 出席率85.71%
欠席会員 布施孝雄会員、壹岐会員、及川(健)会員、若見会員、二階堂会員
- ◎ ニコニコボックス
 - 小林会員
2月25日、奥さんの40回の誕生日、同26日16回の結婚記念日を迎えられました。おめでとうございます。
 - 鈴木(彦)会員
2月8日、長男彦衛君が12才、同じく21日、長女千恵子さんが13才の誕生日を元気に迎えられました。おめでとうございます。
 - 佐藤(幹)会員
14日の麻雀大会で優勝されました。おめでとうございます。尚、本人は随分と遠慮しましたが実力が邪魔して優勝してしまったとのことです。
 - 布施孝之会員
西門RC李会長の来訪を祝して喜ばされました。いろいろとお骨折り御苦労さまでした。
- ◎ 会長要件
寒さも大分やわらぎまして、春遠からずの感一汐でございます。今日も皆様元気で御出席下さいまして有難うございます。
台湾西門クラブとの姉妹クラブ締結のため訪問してから早や1ヶ月を経ました。その感激も冷めやらぬうちに西門クラブの李会長が来訪され、その歓迎準備に万全のご配慮をいただきました国際奉仕委員会の布施委員長初め皆様方ほんとうに御苦労様でした。忙しい日程を割いて遠い当クラブを訪れた李会長を迎えて、皆様と共に和気あいあいのうちにお話し合い出来ました。特に李会長は日本趣味のように見受けられましたので、その点、非常に気楽に接することが出来ました。今回の来訪で更に交流の輪が広がると思います。

尚、詳しくは国際委員長からお話しをいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。ほんとうに御苦労様でした。

◎ 幹事報告

- ガバナー事務所より月信第9信が送られました。お配りします。その月信10頁に新たにポールハリスフェローになられた方々の氏名が出ています。更に米山奨学金の特別寄付に協力された方々の氏名が載っています。当クラブでは協力された氏家(康)会員の名が載っていますので報告します。
- 252地区年次大会の案内
期 日 4月26日
登録受付 9時30分
点 鐘 10時
会 場 北上市民会館ホール
尚、25日は前夜祭で栗駒ゴルフ場で9時受付10時出発の親善ゴルフ大会があります。外にミニ観光として北上市周辺の観光があります。
出席義務者以外も奮って御参加下さい。
- ローター手帳と会員名簿の購入について
手帳は40部発注1部400円
名簿は本年から1冊に取纏め1冊2,300円ですので希望者は申し出て下さい。
- 例会場変更通知
石巻RC3月13日、12:30からリバーサイド2階フロントに変更。理由は創立25周年記念例会のため。
- 20周年記念式典の案内
クラブ名 一関RC
期 日 4月6日
会 場 一関体育文化会館
登録受付 12:00~12:40
登 録 料 1,000円
参加希望者は早目に幹事迄申し出て下さい。

◎ 広報委員会 佐々木委員長

仙北郷土タイムス第78号月刊2月号に民間外交のかけ橋佐沼ロータリークラブ台湾訪問、台北西門クラブと姉妹クラブ締結という見出しで、姉妹クラブ締結の調印をすませ大歓迎を受け、わが国とは正式な国交が開かれておらない中で共通した人類愛、国際奉仕のロータリー精神を通じて民間外交のかけ橋の役目を果して帰って来た……と締結に至る迄の交渉経過が記載されてあります。御一読下さい。

◎ 会員増強委員会 氏家(康)委員長

会員の皆さんからご推せんありました中で、交渉しました結果から報告します。田口富士男さんから今期入会の承諾を得ました。推せんされた会員は至急手続きをとって下さい。会員増強の計画達成のため、これ以外の方を新たに皆さんから来週ご推せんいただくことにします。ご一考下さい。

◎ 国際奉仕委員会 布施委員長

23日に台北西門クラブの李会長が来訪されましたことについて報告します。23日の午後4時に仙台空港に着きまして、会長、幹事、遊佐会員、私とで、空港まで迎えに行きました。直ぐに車で松島の大観荘に向い、大観荘で伊藤副会長、壹岐、阿部の両会員と合流しまして、この晩ささやかな歓迎のパーティーを開き、11時過ぎまでいろいろと懇談し、非常に和やかに胸襟を開きロータリー以外のこともお話しを伺いまして大変楽しい一夜を過した。

翌日朝食後、9時頃宿を出まして、大変寒い朝でしたが、端巖寺のなかを拝観し、後、レストランで小休止し、30分コースの湾内巡航船で島々を見物していただきました。

佐沼に着いたのは12時一寸前で、千葉会長宅にお寄りしまして、ご家族の皆さんから歓待を受け、お茶と奥様手造りのお新香を賞味し、日本趣味の会長らしくザックランに30分程過したのでございます。その後、小竹さんを会場に会員18名参加しまして歓迎昼食会を開き、午後2時頃迄食事しながらいろいろと交歓し、和やかな一時を送ったのでございます。

そのなかで、松島での懇談の際にもありましたが、再三にわたり3月15日西門クラブ創立記念日に是非皆さんにお出下さいという要望がありましたが、出席するとも、しないとも回答は出していません。1月下旬に訪問して、更にまた3月訪問となりますと、皆さんの御都合もありませんし、また、3月は何かと忙しい月でもあります。伊藤副会長は出席しても良いという意向ですが、台湾まで1人での出席は酷ですので、是非誰か御同行され一緒にお祝いをして来ていただきたいと思ひます。この創立記念日には当クラブ以外の姉妹クラブから何人か参加することになっているそうです。是非御一考いただきたいと思ひます。

佐沼を14時頃出発しまして、冷い風のなか伊豆沼の白鳥観賞に御案内しましたが、風が強く遠い浅瀬に寄っていて、近くで白鳥の生態を見ることが出来ませんでした。当クラブで寄贈した餌付棧橋を見ておられました、説明する迄もなく、当クラブの名が貼ってありましたので、それを見ておられました。築館から高速道路に上り仙台東インターで下り、時間に余裕がありましたので、青葉城跡にご案内し、仙台の姿を一望していただきました。更にプラザホテルの15階でコーヒーを飲みながら時間を過しました。空港～松島～佐沼～伊豆沼～築館(縦貫道)～仙台～空港となりますと寛ぐ時間よりも車中の時間が長いものですから、同行した私達も非常に疲れましたが、それ以上に李会長が疲れたことと思ひます。それを表面に表わさず、今度来る時は飛行機でなく汽車にしたいと話して居られました。

佐沼ロータリークラブ挙げての大歓迎の気持がよく李会

長に伝わったと思ひて居ります。この事は帰ったなら直ぐに西門クラブのメンバーの皆さんに報告したいと申されて居りました。尚、当クラブからは桐の箱入れの特製松笠風鈴を土産に差し上げました。会長も個人的に土産をあげたようでございます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

◎ 大河内幹事

来週は75周年記念のこともあり、3月の第1週に当りますので齊藤情報委員長に75周年についてのお話しをいただき、第2週に佐藤(文)会員のスピーチをお願いします。以後、平常のプログラム通りの例会にします。

◎ 社会奉仕委員会フォーラム 秀委員長

社会奉仕のフォーラムを実施せよとの幹事のお話して、いろいろと勉強しましたが大変難しく、ロータリー入門書を細き調べました。この入門書によりますと、ロータリーは社会奉仕を行う団体のように思われていますが、実際は会員に社会奉仕をすすめる教育機関だと書かれてあります。大変もつとだと思ひます。

その意味から云いますと、当クラブの会員皆様方は、その立場立場で立派に社会奉仕を実行されている訳でございます。今更私から申し上げることもないのでございます。また、社会奉仕を行うには、対象を見つけなければならないと記されてあります。その地区地区に於きまして社会奉仕を必要とする分野を見つけ、その面に動きかけることが大切だとされています。この地区は前から関係しています心身障害児の教育施設、福祉施設なども近頃は大変充実して参りまして、皆様のお陰でこじか園等は立派に広域的に運営されています。特に財政的な援助を各方面から頂かなくても1人歩きが出来ようになりました。

昨年出来ました養護学校の迫教室も県立となり、運営出来るところまで成長して来ました。とは言っても公的予算だけでは充分なことは出来ないで、各団体から応援をして頂いている様ですが、一応運営には困らない状態のようです。問題は学校、諸団体はもちろんのこと、私をはじめ皆さんもどうしても小遣いというものが必要であると同様に、予算で決められた金の範囲内では運営出来ない面も多くあります。

学校など、町の予算だけではどうしてもやれないものはPTAから助成を求めているようで、学校行事の運動会などで戴いた御祝儀を財源としているというものもあるそうです。校費として認められない分野の経費として使用出来る金は必要なので、前述の方法で賄っているようです。こじか園とか養護学校でも、一応県費とか広域からの費用で運営出来ますが、そのような面で不自由しているということで、昨年、一昨年とクラブから贈ったお金や青年会議所が昨年行いました38万円にのぼるボトル寄金などは、こじか園、養護学校の運営を円滑にするための資金として重宝に使わしていただいているという話を園長や分教室の主任の先生から伺っています。

これからも、大掛りな助成ということではなしに、そうした面で若干の奉仕活動が必要ではなからうかと思ひます。来年度の社会奉仕委員長にお願いしますが、前に申しました面でもこれからも御援助下さるよう、この機会にお願いいたします。